

令和は古典を楽しもう

古典芸能を“偏愛”する二人のトーク&レクチャー

おしゃべり 古典 サロン

vol.3

2019年

9月22日[日]

14:00~16:00

※13:30より受付開始

MIE CENTER FOR THE ARTS
三重県総合文化センター

三重県文化会館 小ホール

料金:1,000円

※当日受付にてお支払いください。

定員:200名

※定員に達し次第、受付を締め切らせていただきます。

講師:



木ノ下裕一

木ノ下歌舞伎主宰



田中綾乃

三重大学人文学部准教授

7月13日(土)より申込受付開始

問合せ:三重県文化会館チケットカウンター
TEL059-233-1122 ※10:00~19:00/月曜休館(祝日の場合翌平日)

主催:三重県文化会館 共催:三重県生涯学習センター

東海道四谷怪談

とうかいどうごうよつやかいだん

「お岩さんの怪談譚」として、現代でも有名な『東海道四谷怪談』。

しかし、本作は、当時の世相や市井の暮らしを活写した群像劇でもあるのです。

お岩さんを取り巻く人々の、愛憎、欲望、復讐の数々……

さながら「物語のデパート」ともいえるべき、鬼才・鶴屋南北の傑作に、ディープに迫ります。

文政八年(一八二五年)七月、江戸・中村座で初演を迎えた『東海道四谷怪談』は大ヒットを記録します。毒薬を飲んだお岩が恐ろしい姿に変わる「髪梳きの場」などアツと驚く仕掛けが観客の心を掴んだのはもちろんのこと、『仮名手本忠臣蔵』と交互に上演する形式が注目を集めました。なぜ当時十七七年も前に生まれた赤穂浪士の討入劇『忠臣蔵』を同時上演したのか？表裏一体をなす、この二作上演に込められた鶴屋南北の野心とはいかに？